

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業～赤ちゃん誕生を通して～」

滑川市立寺家小学校6学年
平成26年10月30日実施

水島先生は、朝日町立あさひ野小学校(平成26年12月5日)、朝日町立さみさと小学校(平成27年1月27日)、黒部市立若栗小学校(平成26年10月18日)、黒部市立荻生小学校(平成26年7月1日)、黒部市立たかせ小学校(平成26年7月4日)、黒部市立村椿小学校(平成26年7月3日)、黒部市立宇奈月小学校(平成26年11月15日)、黒部市立三日市小学校(平成26年10月31日)、黒部市立石田小学校(平成27年2月13日)、黒部市立宇奈月中学校(平成26年9月25日)、滑川市立南部小学校(平成26年10月11日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

水島 香苗先生

・助産師

(保護者より) あなたが産まれたとき、病室で初めてだっこしながら、「無事に産まれてきてくれてありがとう。」と思ったことを今でも鮮明に覚えています。あれから12年、まっすぐに成長してくれてありがとう。今では頼もしく感じています。名前には、人を包み込むような優しい人になってほしいという願いが込められています。願い通り、優しい子に育ってくれてありがとう。人生は一度しかありません。悔いのないように、精一杯生きてください。そしていつか素敵なお母さんになってくださいね。

【授業の概要】

- 1 胎児の成長
- 2 母子とともにがんばって生まれてくる分娩のふしぎ
- 3 分娩時のお母さんの思いと喜び、家族の協力
- 4 分娩時の喜びの話(ボランティア参加親子2組のお母さんより)
- 5 赤ちゃんとの触れ合いタイム

(家族へ) 私は、このいのちの授業を受けて、いのちは本当に大切に、かけがえのないものだと思います。だいた赤ちゃんは、小さくてかわいかったです。そんな小さな命から私たちが成長してきたことを思うと、一人一人がみんなの笑顔の中でうまれたその命は、とても大切なんだと思いました。いつも私を支えてくれたお父さん、他にもたくさん協力してくれた方々に感謝して、私も一生けん命生きていきたいなと思いました。この授業を受けられて本当に良かった。



(家族へ) 私は命の授業で、まだ産まれて4ヶ月の赤ちゃんをだっこしました。とても小さくて首もすわったばかり。赤ちゃんはとても目がきれいで温かかったです。助産師の水島先生が、命のことをたくさんお話してくださり、助産師というお仕事は、とてもすてきだなと思いました。



(保護者より) お父さんとお母さんの子に産まれてきてくれてありがとう。〇〇は、産まれてすぐに一過性多呼吸症と診断され、だっこするまもなく、検査室に運ばれていきました。「大丈夫」とお母さんの元に戻ってきたとき、涙が止まりませんでした。あの日からずっとずっとお父さんとお母さんの宝物です。